

総領事館便り 7月号

★エリ・スラバヤ市長への表敬

6月19日、田子内総領事は、エリ・チャフヤディ・スラバヤ市長を表敬訪問しました。田子内総領事から、当地在留邦人の安全確保及び日系企業の円滑な活動に対するこれまでの協力と支援に謝意を伝えました。田子内総領事とエリ市長は、スラバヤ市が高知市と築いている姉妹都市関係及び北九州市と築いている環境姉妹都市関係を基盤に、日本との交流・連携を深化させるための意見交換を行いました。



★日本文化体験イベント「Bunka Taiken Ibento (BUTAI) 2025」の開催

6月23日から25日にかけて、当地学校の長期休暇期間を捉えて、在スラバヤ日本国総領事館において日本文化体験イベント「BUTAI 2025」を開催しました。インドネシア人学生・教員を対象に、日本文化体験（書道・浴衣着付け）や日本映画上映会を行いました。

国際交流基金が2021年に行った調査によると、東ジャワ州では約9万人が日本語を学習しており、州内の6大学に日本語学科が設置されています。在スラバヤ日本国総領事館では、インドネシアの人々、特に次世代を担う若者に日本への関心を高め、日本への理解を深めてもらえるよう、様々な文化交流イベントを今後も開催していきます。



書道体験



浴衣着付け体験

(以上)